

と り

しゅく
さん
ぼう
の
肅
粲
寶
の

鳥展

織細で緻密で
ゆるくて
かわいくて
いとoshii

2025
1/25(土) ▶ 2/28(金)

【開館時間】午前10時30分～午後6時（入館は5時30分まで）
【休館日】月曜日 ※祝日または振替休日が月曜日の場合はその翌日
【観覧料】一般：300円 学生：200円 高校生以下：無料

これからのアートを創る

NSG美術館



ユニークで愛嬌ある “鳥”“花”“童子”たち



肅榮寶(1902-1994)は新潟市西堀出身の日本画家。
花鳥風月、人物画、仏画、静物を主に描き、その作風は大胆でおおらかで観る者を笑顔にしてくれます。仏教や中国古典にも造詣が深く、特徴的な書体で書かれた「賛」も絵との一体感が魅力的のひとつです。今回はNSG美術館で所蔵している作品の中から、鳥にスポットを当てた企画展です。鳥と花、鳥と童子などユニークで可愛い作品をお楽しみください。



翠禽朝霞



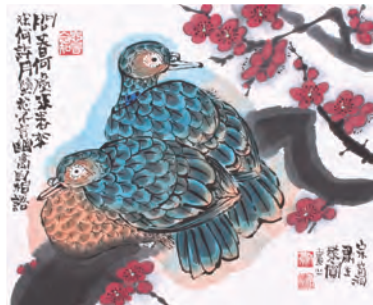
双童遊鶴



開天関



嘉童仙鶴



双鳩紅梅



清香



紫花春禽図



肅榮寶(しゅくさんぽう) 略歴

- 1902 (明治 35) 新潟市西堀に生まれる 本名 水鳥太一郎
- 1918 (大正 07) 上京して働きながら大倉商業学校 (現:東京経済大学) に学ぶ
- 1922 (大正 11) 黒田清輝主宰の菱橋洋画研究所に入所
- 1929 (昭和 04) 帝展に初入選
- 1930 (昭和 05) 院展に初入選
- 1931 (昭和 06) 帝展入選 この頃より小林古径に師事

- 1933 (昭和 08) 奈良の古寺での寄食生活を送る
- 1937 (昭和 12) この頃帰京し作家活動を再開 以降画壇を離れ個展を中心に作品を発表
- 1948 (昭和 23) この頃東京都杉並区久我山に居住する
- 1954 (昭和 29) 画号を「肅榮寶」と定める
- 1972 (昭和 47) パリのギャラリー・ベルネーム・ジュヌで個展
- 1989 (平成 01) 茨城県境町に転居
- 1994 (平成 06) 逝去 (91 歳)
- 2020 (令和 02) S-Gallery 肅榮寶美術館 (茨城県境町) 開館



同時開催

1F 第2展示室

1/25(土)~ 蓮と遊ぶ、粘土とも遊ぶ
2/2(日) 渡邊桜子作品展

2/5(水)~ 近藤武弘 小品展
2/16(日) 一画碟 1.5-

2/19(水)~ 茶会
2/28(金)

NSG ART MUSEUM
NSG 美術館

〒951-8101 新潟市中央区西船見町5932番地561
TEL:025-378-3773



メールアドレス
nsg-artmuseum@nsg.gr.jp
ホームページ
https://www.nsg-artmuseum.jp

- バスで
- 新潟駅(万代口)より新潟交通バス
 - ・(C20)『浜浦町経由西部営業所行』
 - ・(C21)『浜浦町経由信濃町行』
 - ・(C22)『水族館前行』
 - ▶全て「西大畑坂上」下車徒歩5分
 - 新潟交通バス「東中通」下車 徒歩15分

タクシーで
新潟駅(万代口)より約15分
徒歩で
古町十字路より徒歩15分

- 自動車
- ・日本海東北自動車道新潟亀田ICを降り、柳都大橋経由約25分
 - ・国道8号線(新潟バイパス)桜木ICを降り、昭和橋経由約20分
 - ・国道8号線(新潟バイパス)紫竹山ICを降り、柳都大橋経由約20分

